

令和 7 年度 指定管理施設運営状況中間評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市ウェルネスパーク・むつ市総合アリーナ	
指定管理者	団体名	山内土木株式会社
	代表者	代表取締役 山内将邦
	所在地	青森県むつ市大湊新町 37 番 12 号
指 定 期 間	令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 12 年 3 月 31 日 （5 年間）	
指 定 管 理 業務の概要	① 施設の使用許可に関すること。 ② 施設の利用料金徴収に関すること。 ③ 施設の維持、管理及び修繕に関すること。 ④ 施設の特性を活かした利用促進に関すること。 ⑤ その他施設の設置目的を達成するために必要なこと。	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

（単位：千円）

区 分	年 間 計 画 額 ①	上 半 期 実 績 額 ②	増 減 (②－①)
収 入 合 計 (A)	260,361	128,928	△131,433
うち利用料金額	30,583	13,333	△17,250
うち指定管理料	229,418	115,418	△114,000
支 出 合 計 (B)	260,361	116,473	△143,888
うち人件費	111,611	57,869	△53,742
収支差 (A－B)	0	12,455	12,455
市 へ の 納 入 金	0	0	0
計画額と比較した 実績額の増減理由	※上半期終了時は記載不要		

3. 施設利用の状況

（単位：人）

	区 分	年間計画 ①	上半期実績 ②	増 減 (②－①)
利用者数	センターハウス	20,998	11,144	△9,854
	克雪ドーム	93,349	23,445	△69,904
	ウェルネス会員	46,056	22,010	△24,046
	アリーナ	172,153	28,268	△143,885
	見学者	0	462	462
	合計	332,556	85,329	△247,227
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（有・無）				
① プール看板が見づらい！老眼の人もあるし中国人、ベトナム人もいるから配慮したほうがいい！				
【対応状況】現状外国人の利用は1%以下となっています。その中で日本語の読み書きが一切でき				

ない方はおりません。その為、対象が一人もいない状態で外国語表記を加えますと、さらに文字が小さくなり余計に見づらさを感じてしまう事が予想されますので、利用方法やルールが不明瞭な方がいらっしゃるのであれば、外国人かどうかに限らずスタッフが対応に当たるように指導いたします。

4. 自主事業の実施状況

(単位：人、千円)

事業名	利用者数	収入	支出
むつ市ウェルネスパーク自主事業	22,010	14,619	12,273
むつ市総合アリーナ自主事業	2,006	602	638

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A(優良)：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果を上げるこ
とが見込まれる。

B(適正)：適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C(要改善)：指定管理業務の一部に課題があると認められ改善の余地がある。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	A	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	A	A
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	A	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	A	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	A	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	A	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目の改善策を記載すること。

(1) ①両施設の休館日が異なる為、各施設の状況や問い合わせを、いずれの日においても双方の施

設で行う事が可能となりました。大会主催者との打ち合わせを適切に行うことにより大会当日の開館時間について柔軟に対応し利便性向上に努めました

(4) ②修繕発生時には、市と連携し問題解決に向けて事象の共有や工事業者との連絡を迅速に取り施設維持に貢献できたと思います。

(4) ③法令違反は1件もございませんでした

(5) ①3ヶ月先までの予約状況のWeb公開し、利用者の方々が平等に利用できるように努めました。

(5) ②③維持管理職員による毎事巡回点検、全部署による迅速な情報共有、毎月の全体研修会の実施、火災だけではなく地震を想定した避難訓練の実施をする事により危機意識を常に持ち、安心して安全な施設環境の提供ができたと考えております。

7. 市の所管課総合評価 ⑭市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

- ・経年により施設設備に不具合等もみられる中で、自社修繕を基本としており、そのために技術の習得に励むことで迅速な修繕対応及び維持管理費の削減を心がけている点を特に評価する。
- ・施設の情報発信に関して SNS 等を駆使することで、利用者が情報を得やすい環境の提供や利用促進につながる内容の発信に努めている点を評価する。
- ・年々光熱費の増加が目立つ中で、節電等、最大限可能な対策を行っている点を評価する。引き続き経費削減に努めていただきたい。